



NO. 98
2010.11月号

ワイユー インフォメーション
U information

|山|口|大|学|広|報|誌| <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/yu/>



特集テーマ

山口大学就職支援・
キャリア教育の
ヒミツ!!



山口大学

実行委員
STAFF

Contents

特集 1

山口大学の就職支援とキャリア教育	3
------------------	---

就職支援・キャリア教育システムのヒミツ

- 「キャリアデザイン」/「キャリアと就職」/「キャリア形成とコミュニケーション」 6
- 就職相談/アドバイザーによる「シゴトの話」/YYジョブサロンin山大/
就活関連の書籍コーナー/データベース「日経テレコン21」..... 7
- 学内業界・企業研究会/就職活動交流会/学内OBOG訪問/
ジョブスタディ/インターンシップ/自主活動ルーム 8
- 就職講演会・就職説明会/人事院・国家機関説明会/
理系大学院セミナー/留学生就職支援フェスタ/図書館/O-HARA 山口大学就職支援施設 ... 9

特集 2

内定者からのメッセージ「後輩たちへ」~messages from successful persons~

- 経済学部4年 徳永晃平/経済学部4年 福代達也 10
- 人文学部4年 田辺美穂/教育学部4年 椿恵美/
教育学部4年 沖村祐樹 11
- 理工学研究科博士前期課程2年 竹下淳一/医学部4年 今利詩聖/
理学部4年 澤田祐一 12
- 農学研究科修士課程2年 伊関一悟/工学部4年 木原健蔵 13
- 山大流リクルートファッション

「先生おじゃまします」研究室訪問	14
------------------	----

シゴトのコト [OB&OG Voice 先輩に聞きました]	16
-------------------------------	----

NEWS&TOPICS こちら山大情報局	18
----------------------	----

やま だ い 歳 時 記



今年も残り1ヵ月となりました。この秋、各キャンパスでは、大学祭や就職支援行事など多彩なイベントが目白押しでしたが、学習、研究、課外活動など充実した実りの季節を過ごされていますか。忙しい季節ですが時には見慣れたキャンパスを散策し、落ち着いたたたずまいの中で晩秋の余韻に浸ってください。これから日に日に年末が近づいてきます。3年生、4年生、受験生にとっては最後の踏ん張り時です。体調にはくれぐれも気をつけて努力を重ね、目標をめざして頑張ってください。

山口大学の 就職支援とキャリア教育

経済不況の中、大学卒業生の就職率が一段と注目されています。

山口大学の内定率は平成20年度まで90%台を確保し続け、現在も支援機能のさらなる充実を図っています。その機能を支えているのが、一人ひとりの自己実現を目指す就職支援とキャリア教育です。

教育学生担当の吉田一成副学長に、山口大学の就職支援とキャリア教育について語っていただきました。



Profile

山口大学理事・副学長(教育学生担当) 山口大学大学教育機構長

吉田 一成 *Yoshida Issei*

1969(昭和44)年広島大学教育学部心理学科卒業。作陽音楽大学助教授、山口大学助教授、教授、教育学部長、学長特別補佐(国際・社会連携担当)を経て、2010(平成22)年に理事・副学長(教育学生担当)に就任。趣味は昼寝。

山口大学の「就職支援・キャリア教育」充実のきっかけは何でしょう？

正岡子規自筆の墓碑銘に自身の「就職先」と「月給の額」が刻まれているのをご存じですか？ これはご家族が生活できるだけの給料がもらえるようになったことに対する感謝の念を表したものです。

「就職」は本人はもちろん、家族にとっても極めて重要なことなのです。

本学も「学生第一」の視点から、「就職支援」の充実に努めてきています。

まず平成12年6月に「就職情報資料室」を開設し、就職支援体制がスタートしました。当時はバブル崩壊後のいわゆる「超氷河期」で、フリーターが増えて社会問題にもなり、大学にも組織的な就職支援が求められるようになったわけですが、本学ではさらに「教育、人材養成こそ大学の最大の使命である」という大学観も加わって就

職支援・キャリア教育を特に重視するようになったのです。その後、当時の教育国際担当副学長(現・丸本学長)がそうした信念で就職支援やキャリア教育の体制確立にいち早く着手され、充実を図ってきました。

就職支援室は年々充実してきましたね?

翌平成13年6月には「就職情報相談室」を開設して就職支援担当スタッフ(学生生活課専門員)が常駐するようになり、さらに平成14、15年には専任教員が配置され、就職支援・キャリア教育の拠点として定着しました。就職支援室では就職情報の提供のみならず、学生の職業意識の啓発等も含めた支援を行っています。文部科学省は平成23年度からの「キャリア教育の義務化」を決定しましたが、本学の就職支援やキャリア教育は、そうした時流を先取りしていると自負しています。

昨今の就職状況は厳しいものがありますが…

本学の内定率は平成20年度(21年3月)卒業生までは90%台を確保していましたが、今春卒業した卒業生では87.2%まで落ち込むなど、厳しい状況にあります。一昨年のリーマンショックが影響していますね。現4年生と修士2年生についてはまだ分かりませんが、決して楽

観視できない状況だと思います。

そのような状況下、山口大学の就職支援・キャリア教育の方針・特徴は?

まず、大学教育機構が中心となり、各学部・研究科と連携して支援活動を展開する「組織的活動(ネットワーク)」。次に、キャリア教育担当の専任教員が、授業の内外を通じてキャリア形成支援に取り組む「教育連携」、そして専任教員が、就職支援室に常駐して個別相談にも対応する「相談重視(個別支援=パーソナルサポート)」の3点です。

どんな手応えを感じておられますか?

就職活動に、強い意欲と動機を持った学生が増えていることを頼もしく思っています。そして、一人ひとりの動機や将来展望に寄り添い、学生の20年後、30年後も視野に入れた支援を行っている点が本学の特徴です。学生には、人生をトータルに考えて設計し、キャリアを自らデザインしていく力を養っていくよう徹底指導し、早期からのキャリア学習に力を注いでいます。

「キャリア教育」ではなく、あえて「キャリア学習」とされた訳は?

あくまでも学生自らが主体的に学び、行動することを重視しているの

「教育」ではなく「学習」なのです。学生自らがPDCAサイクルでキャリアデザインするという事です。学生による「学内業界・企業研究会」はその代表例ですし、インターンシップも促進しています。

山口大学におけるキャリア学習の目標



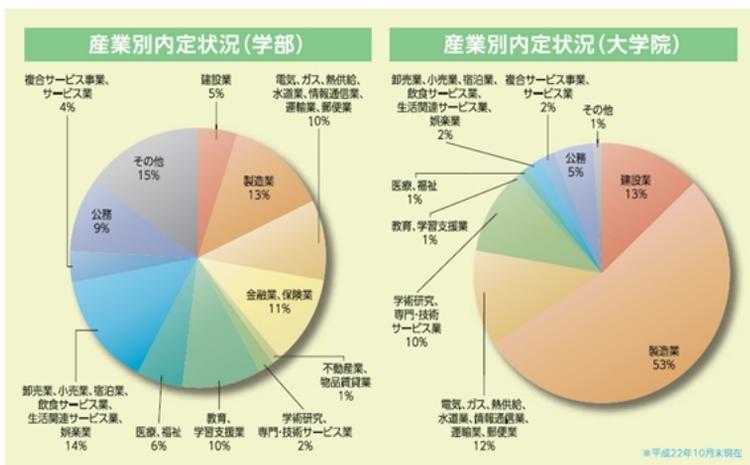
学生による「学内業界・企業研究会」とは?

学生が、業界動向や会社・仕事をより深く、よりリアルに理解できるよう、経営者・人事担当者、また各界で活躍中の本学卒業生などをキャンパスに招いて行う研究会です。キャリア教育の一環として大学が実施していますが、学生もサポート的に参画し、幅広く業界・企業を研究して就職活動や自身のキャリア形成に役立てています。



インターンシップも盛んですね?

インターンシップは非常に重要です。県内高等教育機関・経済団体による「山口県インターンシップ推進協議会」を設立して地元企業との連携をさらに強化するなど、正課内外問わず、広くインターンシップに参加できる体



制を確立しています。



学年別の支援内容や方針等は？

1、2年生では「動機づけ」、3年生では就職活動の「実践力形成(ブラッシュアップ)」ですね。もちろん、まずリサーチが基本となります。就職支援室には「働く」を研究する書籍コーナー」、総合図書館・工学部図書館には「キャリア学習・就職活動支援コーナー」を設置しています。

吉田キャンパスには「O-HARA山口大学就職支援施設」がありますか？

大原学園グループと連携した就職支援施設で、大学の敷地内に民間の就職支援施設を設置するのは、国立大学では初の試みです。就職試験対策講座や資格取得講座を開設し、公務員試験や高度な資格試験に挑戦できる学習環境となっています。従来から「大学生協」が実施している各対策講座ともども、うまく活用してほしいですね。

内定を取るために、学生にはどんな心構えや準備が必要でしょうか？

まず「自己分析」。自分にどんな能力や個性があるのかを見極める、自分自身の棚卸しですね。そして、どのような業界・職種があるのか、それは自分のやりたい事ができる企業なのかという「業界・企業研究」をすること。ただし、誰でも年代によって目標や考え方も変わっていくので、その都度、状況を見ながら調整して、自己決定する修正

能力をはぐくむことも大切です。本学では、20年後、30年後に進路を再選択できる力量の養成と、学生だけでなく「家族の幸せ」にも配慮した就職支援に努めています。

エントリーシートも重要ですね？

エントリーシートは、書類選考の際に大きな影響を与えます。特に「備考欄」や「自己PR欄」が大切ですね。学生には「大いに外活(留学やインターシップ)を経験し、それを備考欄や自己PR欄に記しなさい」と勧めています。さまざまな学外体験は、人間としての幅を広げますし、面接では絶好のセールスポイントになります。

これから就職活動を行う学生に向けてのアドバイス、また高校生やその保護者に向けての就職支援・キャリア教育のPRをお願いします。

キャリアも大学で学ぶことのひとつです。山口大学にはキャリアを「本から

学ぶ、人から学ぶ、友から学ぶ」環境が整っています。これらを十分活用してほしいですね。また、本学には全国の多くの企業から求人があり、地元企業との産学連携活動は、就職にも有利に働いています。留学生の就職率も高く、海外の大学と協定を締結する際にもセールスポイントになっているほどです。就職率の高さは山口大学のブランドイメージといっても過言ではありません。今後も就職支援・キャリア教育を充実させ、本学の魅力をさらに高めていきたいと思ひます。



就職支援・ キャリア教育 システムのヒミツ

山口大学は、入学してから就職(進学)までの道のりを一緒に歩いていくための多種多様な支援システムがあります。特に、一人ひとりの学生を支援するための個別相談を大切に行っている点と、学生自らが将来の展望を設計する力を養うためのキャリア学習に大きな特徴があります。

学生支援センターの「就職支援室」では、スタッフが就職に関わるさまざまなサポートを行っています。また、大原学園グループ、山口大学生生活協同組合と連携し、各種試験対策講座や資格取得対策講座を開講しています。

不況の中、見事に内定を獲得した4年生をはじめ、学生からの満足度が高い山口大学の就職支援・キャリア教育システムのヒミツを追ってみましょう。

※教員採用試験や医師・看護師等、各種国家試験などの対策は、各学部で支援しています。

ヒミツ その1

キャリア 教育科目

1 「キャリアデザイン」

(主対象：1年)

「大学の次のステージ」についてしっかり考え、大学生活を有意義に過ごすための考え方を学びます。各方面で活躍している社会人の先輩を招き、大学と社会の接続を学んでいきます。大学教育機構の専任教員が担当するので、授業だけにとどまらず、各種支援活動や個別相談とも連携しています。

2 「キャリアと就職」

(主対象：3年)

「自分のキャリアは自分で考える」という考え方を理解し、働くための基礎知識を得ることを目的とした授業です。就職活動を経験した先輩や、企業や官公庁で働く方々をゲストに招くほか、自分自身のキャリアについて考えるために、働く人へのインタビューや本などで働く人の想いを調べるなどの各種ワークを取り入れた授業は、就職活動に大いに役立ちます。

3 「キャリア形成とコミュニケーション」

(主対象：3年)

働く上でのコミュニケーションの大切さを学び、実践的にコミュニケーション能力を高める授業です。社会人の方へのインタビューなどの課題に取り組み、その結果をプレゼンテーションします。また、傾聴や取材の技法を学びながら、グループワークを通じて「しっかり聞いて、きちんと伝える力」を養います。

ヒミツ
その2

就職支援室

山口大学に在学するすべての学生を対象として、就職に関する情報提供を行ったり、業界・企業研究会の開催、個別就職相談などを行っています。求人票や説明会情報などを提供するほか、就職情報満載の学内メールマガジン「学生支援センター/就職NEWS」も毎週配信しています。学生の個性、進む道はさまざまです。一人ひとりの進路に合わせてしっかり支援し、個々のキャリア形成を応援するために、特に個別の相談を重視しています。

1

就職相談

キャリア教育の授業を行う専任教員が常駐し、個別の相談対応を行っています。また、専任教員以外にも経験豊富な就職アドバイザーを配置し、学生一人ひとりを支援するための、手厚い個別相談体制をとっています。就職相談はもちろんのこと、面接練習・履歴書添削も行います。

2

アドバイザーによる
「シゴトの話」

民間企業での経験が豊富な就職アドバイザーが、自身が経験したシゴトについて語るミニセミナーを開催します。システムエンジニアや人事職、営業職、アナウンサーなどさまざまな職種のなまの経験談を聞くことができます。



3

YY ジョブサロン in 山大

山口県若者就職支援センター(YYジョブサロン)の就職相談が毎週2回(火曜・木曜)行われます。キャリアカウンセラーによる個別相談のほか、面接・グループディスカッション練習会、エントリーシート対策会、自己分析セミナーなども実施しています。



エントリーシート対策会

就活に関したあらゆることを個別に相談できる

4

就活関連の
書籍コーナー

就職支援室には「働く」を研究する書籍コーナーがあります。ここには著名な経営者の本や「プロ論」、「理系白書」、「プロジェクトX〜挑戦者たち」などの本のほか、授業で紹介するキャリア理論の書籍を多数取りそろえています。



5

データベース
「日経テレコン 21」

最新ニュースや日経四紙の記事のほか、企業情報・人事情報も検索できるデータベース機能で、業界研究や企業研究などの情報収集に最適です。就職支援室に設置されている学生用パソコン2台で利用することができます。



各種セミナー・説明会

ヒミツ
その3

1 学内業界・企業研究会

経営者・人事担当者、山大OB・OGなど社会で活躍されている方をキャンパスに招き、毎年11月～2月に開催します。学内にいながらにして、多くの業界・企業について、リアルに知ることができるチャンスです。学生が主体的に、業界・企業の研究に取り組む場になっています。また、1・2年生がサポーターとして企業の方の案内等、研究会の運営に参加します。

この学内業界・企業研究会はキャリア教育の一環であり、学生たちがこの機会を活用して、幅広く業界・企業を研究し、就職活動ならびに自身のキャリア形成に役立てることを期待しています。



食堂ブース方式の研究会



教室セミナー方式の研究会

2 就職活動交流会

「先輩の話がもっと聞きたい」という学生の一言から始まった夏・冬2回開催の学生行事。就職活動を終えた4年生と3年生の交流、3年生同士の交流を目的としたイベントです。学生食堂で行われるグループディスカッションでは、グループに分かれて先輩を囲み、質問することができます。就職活動を迎える3年生にとっては、有意義な交流の場となります。



先輩の話真剣に聞く3年生

3 学内OBOG訪問

全国で活躍する山大OB・OGを大学に招いて開催します。学内に来られた先輩を囲んで、ざっくばらんに仕事の話、就職活動の話聞くことができます。企業に行かなくても、OB・OG訪問と同じ体験ができる貴重な機会です。



学内OBOG訪問

4 ジョブスタディ

大手企業の人事担当者が、働くことについて直接語る異業種合同セミナーです。山口大学と山口県立大学、下関市立大学の3大学合同で、毎年10月に開催する地域連携型キャリア教育の取り組みです。

ヒミツ
その4

他にもこんなサポートであなたを応援！

インターンシップ

インターンシップは、夏休み(8～9月)を中心に行われます。働くということを感じて体験することによって、描いていたイメージとの距離感を感じることで、働くために今後何をどのように学んでいけばよいのかが明確になるはずです。また、仕事を通じたさまざまな業務経験や出会いは、学内では得ることができない貴重なものです。申し込みは、就職支援室に行っています。



インターンシップ説明会の様子

自主活動ルーム

学生支援センター内にある、ボランティア活動、社会活動などの学生の自主的な活動を支援するための部屋。学生たちの自主企画「おもしろプロジェクト」の支援や地域のボランティア活動の紹介など、コーディネーターが相談に乗りながら学生たちのチャレンジを支援しています。



5 就職講演会・就職説明会

公務員採用試験説明会、教員採用試験説明会のほか、就職情報サイト(リクナビ、マイナビなど)の方が直接サイトの活用法を教える講座、大学院生向けのセミナーなど全学生を対象としたさまざまな説明会・講演会を開催しています。このほか学部主催のものもあり、それぞれの専門性にあった就職支援を展開しています。また、全学講演会では有名な講師を招き、毎年好評です。

説明会では
OB・OGと
話せる機会も



マイナビ活用講座

6 人事院・国家機関説明会

人事院・国家機関の説明会を毎年秋に開催します。大学会館での全体説明の後に行われる、学生食堂での各省庁のブースを設けた個別説明会では、官庁の人事担当者と一緒に話をするすることができます。

7 理系大学院セミナー

理系大学院生の就職活動を支援するために、学生支援センターと理工学・農学・医学系研究科が連携してセミナーを開催しています。修士課程および博士前期課程2年生の体験報告のほか、研究職・技術職の採用動向を伝えることで、大学院生の就職活動をサポートしています。



8 留学生就職支援フェスタ

山口大学留学生センターが主催する就職説明会。参加企業が外国人の雇用状況や就労状況をプレゼンテーションするほか、各ブースで個別面談も行い、留学生と企業の相互理解、また留学生にとっては自己アピールできる場になっています。



図書館

総合図書館(吉田キャンパス)と工学部図書館(常盤キャンパス)の「キャリア学習・就職活動支援コーナー」では、キャリア理論の書籍のほか、さまざまな職業の情報、就職活動に関する本を開架するほか、就職支援室が提供する学内行事の最新情報や、各学部の就職支援状況などの情報も掲載しています。



O-HARA 山口大学就職支援施設

吉田キャンパス内にある大原学園グループとの連携による就職支援施設。大学の敷地内に民間の就職支援施設を設置するのは、国立大学では初の試みで、山口大学の学生を対象にした就職試験対策講座や資格取得講座を開講しており、公務員試験や高度な資格試験にチャレンジすることができます。都市部で行われる授業をパソコンで受講できるVOD(ビデオ・オン・デマンド)室を利用すれば、無理なく自分でスケジュールを組み受講することができます。



(開設講座:公認会計士、税理士、公務員、行政書士、宅建主任者、簿記3・2・1級など)

内定者からのメッセージ

“後輩たちへ” ★Messages from successful persons★

スタートを切った2012年卒の就職活動。内定を勝ち取った2011年卒生に、内定GETへ向けてためになる話を、たくさん聞くことができました。就職活動に臨む学生必読です。

質問事項 Questions for successful persons

- A 大学の就職支援・キャリア教育で役立ったものは？【役立った講義/就職支援】
- B エントリーシートはどうやって書きましたか？【エントリーシート】
- C 就活において失敗したことは？【失敗談】
- D 就活中の気分転換方法は？【気分転換法】
- E 就活中の必須アイテムは？【就活アイテム】



▶▶ message 01

経済学部経営学科4年 徳永 晃平さん
内定先/山口県庁

A 【役立った講義/就職支援】

3年時の「キャリアと就職」を受けたことが就活について考えるきっかけになりました。授業の中で自己分析をしてレポートにしたことがありましたが、この時のレポートは面接などにも役立ちました。

B 【エントリーシート】

自分のことを深く掘り下げて、自分の長所を練って作りました。部活動とアルバイトでリーダーを務めていたので、リーダーシップをとれる点とコミュニケーション能力の2つを明確な柱にしました。しっかりとした自己PRを作ることが重要で、これがしっかりしていれば面接でいろいろな質問をされても、応用して答えることができると思いますよ。



D 【気分転換法】

1週間スパンの計画を立てて公務員試験の勉強をやっていましたが、土日のどちらかは遊ぶ日と決めて、ある程度メリハリをつけるようにしました。仲の良い4人組や他大学の友達と遊びました。

E 【就活アイテム】

自己分析をまとめた自己PRノート。面接練習での気づき、思い浮かんだことをノートに書き込みました。



経済学部経済学科4年 福代 達也さん
内定先/三菱UFJ信託銀行株式会社

▶▶ message 02

A 【役立った講義/就職支援】

1年時の「キャリアデザイン」が就活を考えるきっかけになりました。就職支援室では、面接練習をすることができ、講師の方や同級生からの意見が聞け、いい経験になりました。

B 【エントリーシート】

企業が目指しているキーワード(「チャレンジ」、「チームワーク」など)に沿って書くエントリーシートだったので、企業が求めているものに自分の長所を合わせるように書きました。野球部でまとも役をやって学んだことや苦労したこと、性格面はタフでひたむきな所や少し嫌なことがあっても継続する所をアピールしました。

C 【失敗談】

面接では話が長くなる短所がありました。面接は場慣れが大切だと思うので、就職支援室で場数を踏みました。持っていないで困ったものは証明写真と学割乗車券。何枚かストックしておくとういことです。

E 【就活アイテム】

面接にはその会社のエントリーシートのコピーを持参しました。エピソード、質問事項をチェックして面接に臨みました。



▶▶ message 03

人文学部言語文化学科4年 田辺 美穂さん
内定先／株式会社JRサービスネット広島

A 【役立った講義/就職支援】

当初、就活は何から始めたら良いのかわからなかったのですが、3年時の「キャリアと就職」を受けて先輩の体験談などを聞くことができ、参考になりました。

B 【エントリーシート】

面接はエントリーシートに基づいて質問されることが多いので、あやふやでない具体的なエピソードを加えて書くようにしました。内容はすべて1年生の頃から続けていたアルバイトのことで、第1志望のホテルと旅行会社は4月に全部落ちてしまい、改めて業界を再考しました。その結果、人を喜ばせる仕事がしたいと気づき、現在のサービス業界を見つけました。

C 【失敗談】

履歴書にハンコを押し忘れたり失敗は数多くあります…。また、珍しいことですが、電車で会社に行くとき人身事故が起きて、新幹線に乗り換えることが3、4回ありました。間に合いましたが、時間に余裕を持つことの大切さを感じました。

E 【就活アイテム】

携帯電話のGPSの地図。方向音痴なので欠かせませんでした。すぐ充電が切れるので、電池式の充電器も必須でした。



▶▶ message 04

A 【役立った講義/就職支援】

3年時の共通教育科目「キャリアと就職」では、先輩の話を直接聞いて質問することができ、一番ためになりました。また、親など身近な人に話を聞く課題があり、普段なかなか聞かない話を初めて聞くことができました。就職支援室で行われたさまざまな企業説明会にも参加しました。自分の知らないたくさんさんの企業があることがわかりました。

B 【エントリーシート】

興味があったシステムエンジニアのインターンシップに参加したことで、仕事の内容を実感でき、エントリーシートを書く上で励みになりました。システムエンジニアがお客さんと携わる仕事だとわかったので、接客のアルバイトをして接客が好きな点と自分の前向きな性格をアピールしました。

D 【気分転換法】

たまたまですが、土日に就活の予定が入らなかったのので、月一くらいで格安の旅行に行きました。なるべく就活の事を考えず気分を入れ替えることにしていました。

E 【就活アイテム】

親からもらったお守り。また就活ノートを書くとき、これだけ頑張ったんだという証拠にもなって心強いですよ。



教育学部情報科学教育課程4年
梶 恵美さん
内定先／株式会社富士通山口情報

▶▶ message 05

教育学部学校教育教員養成課程4年
沖村 祐樹さん
内定先／広島県小学校教員



A 【役立った講義/就職支援】

大学の講義とは別に、生協の教員養成講座を受けました。外部の先生による講座で、大学の講義の後に受けて、帰って復習するというサイクルで勉強しました。おかげで合格することができました。

B 【エントリーシート】

志望動機には、なぜなりたかについて書きますが、ボランティア、部活、サークルでの経験を入れると説得力が増します。野球サークルで会長を務めた経験から、リーダーシップがとれるという点と積極性を押ししました。また、ボランティアの参加や小学校の外国語教育の導入に向けた特別講座の経験も書きました。

志望動機には、なぜなりたかについて書きますが、ボランティア、部活、サークルでの経験を入れると説得力が増します。野球サークルで会長を務めた経験から、リーダーシップがとれるという点と積極性を押ししました。また、ボランティアの参加や小学校の外国語教育の導入に向けた特別講座の経験も書きました。

C 【失敗談】

僕はその日に勉強する事しか決めておらず、試験が近づき日数が少なくなると焦りで集中できないことがありました。長期的なスケジュールのもと、細かく計画を立てれば、もっと気持ちに余裕をもって勉強できたのではないかと思います。

E 【就活アイテム】

音楽。気が乗らないときに聴きながら勉強したりしました。また、興味のある野球やハウツー本などを読みました。



A 【役立った講義/就職支援】

就活の意識を持ち始めたのは修士1年の春くらいからで、就活の右も左もわからなかったのですが、リクナビとマイナビの説明会では、スケジュールやインターネットの使用方法、自己分析の方法などから十まで教えてくれて大変助かりました。

B 【エントリーシート】

エントリーシートは内容がわかりやすくシンプルで、かつ具体的なエピソードを添えた内容にしました。少し恥ずかしさはありませんが、書いたものをキャリアカウンセラーやリクナビの方、先輩など第三者に見せて評価してもらうことで、客観的な視点が加わります。その視点をもとに書き直すことでよりよいものを作りました。

C 【失敗談】

誰もあると思いますが、書類送付の場合、期限ギリギリに提出してしまうと、エントリー自体が間に合ったのかどうか分かりません。提出前に、きちんと計画を立てて出すべきだと思います。

E 【就活アイテム】

携帯電話の地図機能。いろいろな地域に行くので役立ちました。あと案外忘れがちなのが折りたたみ傘です。



理工学研究科電子デバイス工学専攻
博士前期課程2年
竹下 淳一さん
内定先/九州電力株式会社

医学部保健学科
検査技術科学専攻4年
今利 詩聖さん
内定先/アロカ株式会社



A 【役立った講義/就職支援】

YYジョブサロンの方による講習会に参加しました。履歴書の書き方、電話対応の仕方についてレクチャーを受けて、ためになりました。

B 【エントリーシート】

私が受けたのは医療機器を売るために技術面で営業をサポートするアプリケーションスペシャリストという職種ですが、自己PRや志望動機欄の代わりに、白紙に自分を表現するという形式でした。見た目で違いを出したかったので、「和」をテーマに、

いろいろな写真ははり付けて、私が関わってきた地元の人、宇部で知り合った人、アルバイト先の人たちとのつながりを表現しました。

D 【気分転換法】

趣味のダンス(ジャズヒップホップ)。カリキュラムが他の学部と比べるとびっしり詰まっているので、遊ぶときは遊ぶというようにメリハリを付けました。うまくやりくりすれば遊ぶ時間は作られました。

E 【就活アイテム】

デジカメ。メモを取るより早いと思って、常に持ち歩いて、気になった就活情報を撮っていました。



理学部生物・化学科4年 澤田 祐一さん
内定先/中国電力株式会社

A 【役立った講義/就職支援】

3年時の「キャリアと就職」を受講し、先輩方の経験談のなかで、インターンシップの重要性を感じたので参加しました。HPだけではわからない雰囲気、設備などを実際に確認することができたのでよかったです。また、学内企業説明会や就職支援室、YYジョブサロンでのエントリーシート添削など、利用できるものは予定が合う限り参加しました。

B 【エントリーシート】

自己PRでは、主に「積極性」をアピールしました。大学に入った時点から就活を意識していたので、大学という場でできることを積極的にやろうと思いました。ボランティアや、小学校の授業の補助をする理科支援員に参加しましたし、牛乳配達もしました。学生であっても、社会との関わりを持つことが大切だと思います。

D 【気分転換法】

面接に行った先を観光しました。あまり日程を詰め過ぎないようにもしました。

E 【就活アイテム】

防府天満宮のお守り。また、ホテルからも書類が提出できるように履歴書と封筒、のり、写真を持ち歩いていました。



農学研究科生物資源科学専攻

修士課程2年 伊関 一悟さん

内定先/株式会社ウェザーニューズ

▶▶ message 09

▶▶ message 10

A 【役立った講義/就職支援】

修士から山大に入学したのですが、就職支援室の就職アドバイザーの方にエントリーシートを添削してもらい、しっかりした文章を書けるようになりました。

B 【エントリーシート】

自分が研究している気象学の分野が会社の事業分野と近く、普段の研究で学んでいる事を中心に書きました。自己分析はしなかったのですが、やっていることをしっかり書いたのが、それが伝わったのだと思います。研究してきた事が役に立っていると感じました。エントリーシートは企業と自分の興味とのマッチングが重要だと思います。興味があることを早く見つけ、知識経験を積み、早いうちから準備することが大切だと思います。

C 【失敗談】

ある会社に行く際にもらった地図がアバウトでたどり着けず、説明会をキャンセルしたことがありました。初歩的なことですが、下調べが必要だと痛感しました。

E 【就活アイテム】

ハンカチ。学生は普段はあまり持ち歩く習慣がないですが、必要ですね。



A 【役立った講義/就職支援】

大学であった警視庁の説明会です。

B 【エントリーシート】

小中高は剣道部で主将、大学に入ってからにはテニス部で会長を務めていたので、自己PRにはリーダーシップについて書きました。警察官は小学生のときからの夢だったので、志望動機にはその思いについて書きました。新しい事をやろうと思って工学部に進学しましたが、初心に帰って警察官を目指そうと思ったのは2年生のころです。研究内容は就職と関係なく、文系の学部に比べると不利な面があったので、参考書を読むなどの勉強をしていました。頑張ってきたことや努力してきたことが結果につながったと思っています。

C 【失敗談】

グループディスカッションで司会役を他の人に取られて、後手にまわってしまい、もっと積極的になればよかったと後悔しました。面接でリーダーシップについて話す予定だったので…。

E 【就活アイテム】

手帳。試験や面接を見据えて、予定だけでなく気づいた事、考えた事をメモしていました。ノートを書くとき、これだけ頑張ったんだという証拠にもなって心強いですよ。

工学部社会建設工学科4年

木原 健蔵さん

内定先/山口県警



山大流リクルートファッション

面接などでは、まずは第一印象が重要。清潔感のある身だしなみを心がけよう。



髪型

長髪・茶髪はNG。寝癖はとって清潔感を出す

顔

ひげはきれいにそる

シャツ

白が基本

スーツ

シングル2つボタンか3つボタン、色は黒・紺・グレーが基本

スラックス

靴の甲でたるむくらい長さに

靴下

無地で、色は黒・紺・グレーを。スポーツソックスは不可



髪型

ロングヘアはまとめる

メイク

ナチュラルメイクで

ブラウス

白や薄い色が基本

スーツ

2つボタンか3つボタンのテーラードカラーが基本。色は黒・紺・グレーを

バッグ

靴と同じ色目のものを(黒が一般的)。A4サイズの資料が折らずに入る大きさがよい。リュックは避ける

スカート

タイトスカートが基本。座ったときにひざ上10cm以内の長さを目安に

ストッキング

肌色やベージュのものを

靴

シンプルな黒のパンプス。ヒールの高さは3~5cmが適当

靴

黒の革靴が一般的。きちんと磨いておく





先生
おじゃまします

研究室訪問

おじゃました研究室は…

「ストレス応答と関連した難治性疾患の克服のための戦略」

中井 彰 教授 にお話をうかがいました!



大学院医学系研究科(応用医工学系学域 医化学分野) 中井 彰 教授

細胞内の普遍的な研究で 未解明の治療法を探る。

「細胞を構成する成分の恒常性を維持する仕組みを『素過程』と呼びます。恒常性とは、生物において内部環境を一定に保つ働きのことです。全ての細胞には、構成成分の質や量を安定化するための、つまり恒常性を維持するための『素過程』という仕組みが存在します。これは生物が健康を維持する上で非常に重要な要素なんです」

中井教授を中心とした医学系研究科の研究者12人は、私たちの体を構成する細胞内の仕組みと機能を研究することによって、がんや神経変性疾患など、まだ確立されていない難治性疾患の治療法を探っています。

「素過程の容量を超えるストレスがかかると、疾患(病気)につながります。異常を感知して正常な状態に戻そうとする機能を『ストレス応答』と呼びますが、この応答を超える異常によって細胞機能が保たれなくなると疾患が起こるのです。マウスの実験から、神経細胞の恒常性が破綻することで疾患が発生することがわかっています。この機能(ストレス応答)の仕組み(素過程)を明らかにすることが研

究のコアな部分です。正常な状態のときにどのような役割をするか、生理機能の解明をするわけです。正常な状態のときの役割が解明できなければ、異常な状態のときのこと分かりませんからね」と中井教授。

どんな生物にも、生きていくためにストレス応答の仕組みがあり、それは、細菌から人間まで共通のものだといえます。山口大学には全ての臓器の専門家がそろっているため、一つの素過程の解明は複数の臓器への応用にもつながります。

「私たちは、ストレスに対応できなくなって恒常性を維持できない状態が病気であるという考え方をもとに、研究を行っています。人間を含めた生物全般の細胞における普遍的な研究なので、携わることができて幸せですよ。これまでの研究の過程で、従来の定説を覆す発見も出てきています。恒常性を維持するための新しい因子の発見がその一つです。この因子をマウスで強く働かせると寿命が伸びるといった実験結果が出ています」

世界でも先端を走る独自の視点とアプローチによって、細胞の未知なる仕組みを解き明かす挑戦は続きます。



研究の現場



細胞を使って行われる
分子の分析

プロジェクトの概要

細胞内外からのストレス要因によって起こる疾患を解明し、新たな治療法の開発を目指している組織。細胞の恒常性維持の仕組みが、白内障、統合失調症などの疾患に密接に関連していることを示す発見に貢献するなど、成果をあげています。

■研究内容の詳細については、HPをご覧ください
[URL] <http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~seika2/kennyuusuishin/kenkyuusuishin-2.html>

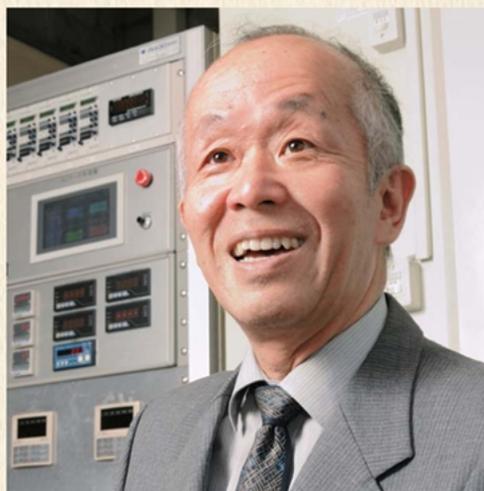
山口大学研究
推進体とは…?

いくつかの領域にまたがる研究テーマに対して、各学部の教授や研究者が専門分野を持ち寄り、学部の壁を超えて取り組む研究グループです。平成16年度に創設、21年度に再編成。地域課題研究の推進拠点づくりや若手研究者の育成を目的とし、世界水準の研究をめざしています。

おじめした研究室は…

「深海底地盤におけるメタンハイドレートの資源開発及び二酸化炭素貯留研究」

兵動 正幸 教授 にお話をうかがいました!



大学院理工学研究所(環境共生系学域 安全環境学分野) 兵動 正幸 教授

次世代につなげたい 新エネルギーの研究。

「メタンハイドレートは低温で高圧な環境において水とメタンが反応して生成される物質です。見た目は氷のような固体で、水の分子が形成する「かご構造」の中にメタンが取り込まれていて、常温・常圧になるとメタンガスに変わります。燃焼時のCO₂排出量が、石油や石炭などの化石燃料のおよそ半分なので、地球温暖化対策としても有効なエネルギー資源と考えられています」

日本が自前で採れる資源として期待されているメタンハイドレート。この資源開発に携わっているのが兵動教授を中心とした研究推進体です。メタンハイドレートのほとんどは深海底にあり、日本の海域には日本が使用する天然ガス100年分の埋蔵量があると考えられています。

「採取は、石油掘削と同じように海底に井戸を掘って、分解させて天然ガスとして生成します。ただ、地球環境に与える影響や効率性の問題により、開発手法はまだ確立されていません。まずは効率性よりも安全性を優先しなければなりません。大気にも海にもメタンガスが漏れない方法

を開発しなければなりません。また、採取する際に堆積(たいせき)層を海底から引きはがすような形で、海底地すべりが起こらないかの地盤研究も必要となります」

兵動教授の専門は、土木関連の地盤工学、耐震工学。実験室には、ダムや大きな構造物における耐震性や強度について実験できる大がかりな試験機器を所有しています。実験室で行っているのは、特に、深海底におけるメタンハイドレートの生産中、生産後における地盤の安全性を調べるシミュレーションや環境影響評価です。

「メタンハイドレートに加えて、CO₂をハイドレート化して海底に貯留することで大気中のCO₂削減を図る手法についても研究しています。深海底における研究はあらゆる英知が必要です。安全性と経済性の問題を解決する糸口を見つけるためにも、さまざまな分野の専門家を集めて技術の融合を図りたいですね。また、土木関係では、建設業の需要の停滞で若者たちが夢を持つことが難しくなっています。未来に向けて研究すべき新しい領域があることを若い研究者たちに示していきたいです」



圧力と温度を
調整できる
試験機器を備える

グラフィック上で
メタンハイドレートを分析



プロジェクトの概要

新しいエネルギー資源として期待されるメタンハイドレートを安全かつ効率的に生産するための研究を行っています。地盤工学をベースに、掘削する深海底の地盤状況、環境状況を調査するためのモニタリング技術の開発も行っています。

■研究内容の詳細については、HPをご覧ください
[URL] <http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ken-san/senryaku/suisintai/list/2009/09-1-03.htm>

「病院見学」は 次の一步を踏み出せる キッカケになります。

Profile

草花 絵都子さん

Kusaka Etsuko

平成22年山口大学医学部
保健学科検査技術科学専攻卒
宇部市出身・山口市在住

MY JOB

総合病院山口赤十字病院 中央検査部 臨床検査技師

血液、組織、細胞や微生物の検査、心電図、脳波、肺機能、超音波、聴力などの生理検査を迅速かつ正確に行います。



在学中に資格が取れる 目標が立てやすい環境

高校2年生で進路を決めるときには、既に漠然とはありますが、医療系の仕事に就きたいと思っていたので、医学部に行くことは、私の中で決めていました。ですから、進路で悩むことはありませんでした。大学に入学した時点でも、学びたいことや進みたい方向は見えていました。

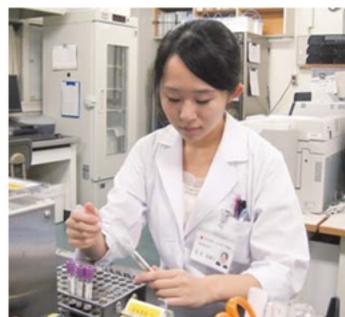
山大は、在学中に資格が取れる環境が整っていると思います。「この授業を受ければ、こんな資格が取れる」ということが明確になっているため、目標も立てやすいと思います。私は臨床検査技師のほかに健康食品管理士という資格を持っています。学生の頃は、この資格が自分にとってどのくらい必要かはあまり考えませんでしたが、実際に就職してから、役に立つことがあり、資格を取っておいて良かったとあらためて思いました。

在学生の皆さんの多くもそうだと思いますが、やっぱりテスト前は大変でした。医学部の図書館は24時間開いているので、友達とよくこもって勉強しまし

たね。家だったらいろんな誘惑(TVとか…)に負けてしまうので(笑)。

「検査は迅速かつ正確に」 心掛けている上司の言葉

医療系の仕事に就きたいとは思っていましたが、いろいろと専門的な勉強をしていくうちに、企業や大学院に進む道も考えました。そんな中、大学3年の春休みや夏休みに、県内外の数カ所の病院へ「病院見学」に行き、実際にさまざまな仕事を手伝わせてもらいました。この時の経験を通じて病院での仕事にやりがいを感じ、中でも日赤病院は、働いている方たちのチームワークやアットホームな雰囲気が高く「この病



職場の様子

院で働きたい」と強く思いました。

就職活動を始める前に、「病院見学」に行くことは意義があると思います。自分が興味のある職場へ実際に行って雰囲気を感じる。今まで見えなかったものが見えたり、確信できたりして、次の一步を踏み出せるキッカケになります。また、受け入れ先の方も「病院見学」に来る学生のことをしっかりとチェックされているようです。「人の話を聞く姿勢」や「自己アピール」は大事なことです。

今は、血液検査を主に担当しています。採血後、10~20分程度で結果を出し、医師に伝えなければなりません。「検査は迅速かつ正確に」これは上司から言われた言葉です。間違わないようにとあまり慎重に検査をしても、時間がかかり過ぎては患者さんを不安にさせてしまいます。「患者さんが待っているんだ」ということを常に念頭に置き、迅速かつ正確に検査を行うよう心掛けています。仕事に慣れるにつれ、責任の重さを感じています。

思いと言葉と行動が 一直線上になれば、 きっと何かを成せるはず。

Profile

金山 勉さん

昭和58年山口大学人文学部人文学科卒
防府市出身・京都府在中

Kanayama Tsutomu

MY JOB

立命館大学 産業社会学部教授(マスコミ学博士)

マスコミ・ジャーナリズムを研究。テレビ制作の実習クラスをはじめ、映像ジャーナリズム、パブリックアクセス(市民発信)などの講義を行い、理論と実践に強い人材を育成しています。また、海外のプレス関係者と交流も行っています。



ゼミでのアメリカ史の研究が メディアの研究へとつながる

入学したころ人文学部はできたばかりで、私は2期生でした。アメリカに憧れがあったので、アメリカの歴史を学べる西洋史ゼミを専攻しました。卒業後、アナウンサーとしてテレビ山口に就職して中継などの仕事をすするうちに、メディアやジャーナリズムを研究したいという気持ちが芽生え、30歳から7年間アメリカに留学し、修士号、博士号を取りました。日本に帰ってからもアメリカで出会った人たちとの交流は続いています。山大のゼミで西洋史学を専攻したことは、テレビ局を経て、メディアとジャーナリズムの研究に携わる現在につながっています。アメリカ史をひもといてくれたゼミの先生には感謝しています。ゼミの先生と同じくフルブライト奨学金を受けて、客員研究員としてジョージワシントン大学へ招かれたのは名誉なことでしたし、少し恩返しができただかなと思っています。

昨年10年間勤めた上智大学から、立命館大学に移籍しました。新聞やテレビなどの主要メディアから市民メディア

ア、国際的なメディアまでを研究領域にして、メディアが持つ役割と責任などについて研究しています。今では、テレビや映画などの業界へと巣立った教員の子が多くいます。教員というのは、世の中に送り出す学生が、無限の可能性を持っているいろいろなことをやってくれるという喜びがありますね。



若さを包み込んでくれる 温かさが山大にはある

山口大学ではよい時代を過ごさせてもらいました。所属したマンドリンクラブは当時100人を超えるオーケストラでした。ぶつかるときはぶつかり、はしゃぐときははしゃぐというように、密度の濃い人間関係を築きましたね。人と人とのつながりの大切さをクラブ活動が教えてくれたと思います。先生や友

人などいろいろな出会いに恵まれ、こういう出会いの積み重ねでここまで頑張ってきたのだと思います。また、山口という風土には、若くて少々至らない者を、受容し包み込んでくれる良さがあると思っています。これは地域力であるともいえます。地域を構成する人々が刺激し合えたり、温かく支え合えるのは大切なことです。

若いうちは、頑張っていれば手を差し伸べてくれる人がいると信じ、頼れる人には頼った方がいいです。若者の特権です。あと、考えたことは口に出して行動すること。思いと言葉と行動が一直線上になれば、きっと何かを成すことができるのではないのでしょうか。



取材に同行したYU-PRSSスタッフとの1コマ



NEWS & TOPICS

こちら山大情報局

山大のコトがもっとわかる話題やニュースをお届けします。

NEWS & TOPICS 01

中井彰教授が発見!! 「アルツハイマー病などの治療につながる遺伝子」

大学院医学系研究科医化学分野の中井彰教授、林田直樹助教らを中心とした研究グループが、アルツハイマー病やパーキンソン病などの難治性の疾患群の治療につながる重要な遺伝子を発見しました。

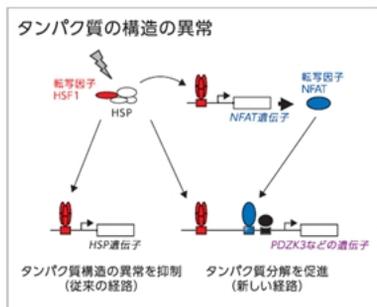
生命の最小単位である細胞を構成するタンパク質は、通常その量と質がほぼ一定に保たれていますが、外界からのストレスや遺伝的要因等で異常を発生することがあります。

このようなタンパク質の異常が進むと、アルツハイマー病などの難治性疾患を引き起こしますが、これらの疾患に有効な副作用のない薬剤は開発されていません。

これまでは、タンパク質の構造の異常を抑制する熱ショックタンパク質 (HSP) の研究が主流でしたが、HSPを増やす因子を活性化させると細胞に害を及ぼすことが治療薬の開発を難しくしていました。このたび、中井教授らは、異常タンパク質の分

解を促進するNFAT (活性化T細胞核内因子) を持つ遺伝子を突き止めました。

なお、本成果は、2010年9月10日付け英科学雑誌EMBO Journal電子版に掲載されたほか、国内のメディアでも紹介されました。



NEWS & TOPICS 02

明石真教授が開発!!「体毛によるヒトの体内時計測定法」

時間学研究所の明石真教授が、佐賀大学野出孝一教授、ソニー株式会社先端マテリアル研究所とともに、体毛から簡便にヒトの体内時計を測定する手法を開発しました。

体内時計の乱れは、睡眠障害、精神疾患、学習能力低下など多岐の疾患発症の根底に関わることがわかっており、開発した測定方法は、引き抜いた体毛(頭髪やあご髭)の根元についている細胞を利用し、体内時計をつくり出している時計遺伝子の活動を測定するものです。従来使用されてきた口内粘膜や末梢血による測定は、煩雑かつ精度が低いものでしたが、今回開発した体毛による測定法は、簡便に測定できることから臨床導入等の基盤が確立されたといえ、疾患の予防や治療などに結びつくものと考えられます。

今後は、課題である測定精度を高めることで、体内時計の乱れを原因とする疾患の治療や個人々の体内時刻に合わせた抗がん剤などの投薬・治療への貢献が期待されます。

今回の成果は、国内の多くの主要メディアで報道されただけ

ではなく、Science Nowなど海外のニュースや[NATIONAL GEOGRAPHIC]といった海外の有名な科学雑誌にも多数取り上げられるなど、世界的に注目度の高いものとなっています。



丸本学長らの 『中国内陸部・貴州省の持続的発展をめざして —環境・農村・文化と人材育成—』

この本は、国際協力銀行（JBIC）が進めているODA事業の一環である、貴州省環境社会発展事業のうち「貴州省における人材育成プログラム開発」を山口大学がJBICと連携して実施したことがきっかけとなり出版に至りました。

この本では、本学が行った、医療、農業、環境、文化や政治経済などの総合的な調査・研究成果を基に、過酷な自然と戦っている農民、消え去ろうとしている民俗文化を必死に守ろうとしている少数民族の人々、貧困克服への取り組みなどを紹介しており、貴州省のみならず、中国内陸部の持続的発展への貢献が期待できる内容になっています。

貴州省に関する本格的な研究書や啓蒙書が少ない中、この本が、一人でも多くの方の目に触れ、貴州省、ひいては中国の理解の一助になればと願っています。



丸本卓哉・早川誠而・藤原貞雄・松井範博 編著
『中国内陸部・貴州省の持続的発展をめざして
—環境・農村・文化と人材育成—』
(文一総合出版、全303頁、2010年8月刊)

～ビートルズが呼吸した街のことを知って、 ビートルズを聴けば、まったく新しいビートルズが聞こえて来る！～ 福屋利信教授の『ビートルズ都市論』

ビートルズが生まれたリヴァプールは、産業革命を発信し労働者階層の多く住む街であり、大西洋奴隷貿易で栄えた暗い歴史ゆえに偏見と差別を受けてきました。ビートルズはその逆境を反骨心に転換して、成功への階段を駆け上って行きました。

ビートルズは、ハンブルグでプロとしてスタートし、中産階層の若者たちが支持した「ドイツ実存主義」から多くを学び、他のロック・グループとは一線を画するインテリジェンスを身につけました。

そしてビートルズはロンドンでレコード・デビューし、その後の活躍により、「大英帝国五等勲士」を与えられ、上流階層の仲間入りを果たしました。しかし、ロンドンの上流気質に完全には同化で

きず、リヴァプール人としての素朴な価値観とロンドンの前衛的な価値観の狭間で揺れました。「イン・マイ・ライフ」、「ペニーレイン」などのリヴァプールへのノスタルジックな思い出を歌い込んだ楽曲群に、ビートルズの複雑な心情がにじみ出ています。



福屋利信 著
『ビートルズ都市論』
(幻冬舎、全262頁、2010年9月刊)

平成22年度山口大学大学院秋季修了式・秋季卒業式を挙

9月29日、大会会館1階大ホールにおいて、平成22年度山口大学大学院秋季修了式及び秋季卒業式（修了生12人、卒業生33人）を挙行了しました。

式典では、初めに、丸本学長から出席者一人ひとりに学位記・卒業証書が手渡され、「卒業は新たなスタートでもあるので、本学で学んだことを忘れず、しっかりと前を向いて、これからもチャレンジを忘れないでほしい」と挨拶がありました。

式典終了後には、応援団から修了生・卒業生に向けてエールが送られ、修了生・卒業生は、希望を胸に新たなスタートを切りました。



EVENT CALENDAR

イベントカレンダー(12月・1月)

12月	1日	水	学内業界・企業研究会(～2月23日)
	3日	金	第93回初等教育研究発表大会(教育学部附属山口小学校)
	10日	金	第56回中・四国国立大学連合美術展覧会・連合演奏会(鳥取)(～12日)
	11日	土	2010年度 東アジア国際学術フォーラム 「東アジアにおける格差拡大と諸問題」(古田キャンパス)
	14日	火	推薦入試I・推薦入試II(工学部)・社会人入試・ 帰国生徒入試(農学部獣医学科除く)合格発表 推薦入試II(工学部を除く)・帰国生徒入試(農学部獣医学科)出願受付(～16日)
	25日	土	冬季休業(～1月7日)
	28日	火	仕事納め
	1月	4日	火
15日		土	大学入試センター試験(～16日)
20日		木	推薦入試II(工学部を除く)・帰国生徒入試(農学部獣医学科)入学者選抜試験
24日		月	一般入試・私費外国人留学生入試(経済・工学部除く)出願受付(～2月2日)
28日		金	後期末定期試験期間(～2月10日)


 ユー・インフォメーション
Uinformation
 山口大学広報誌第98号

編集発行 山口大学広報委員会(総合企画部広報チーム)
 住所: 山口市吉田1677-1 電話: 083-933-5007 Fax: 083-933-5013
 E-mail: sh011@yamaguchi-u.ac.jp

広報委員会委員

●西田 輝夫(副学長(総務企画担当)) ●木下 武志(副学長補佐) ●坪郷 英彦(人文学部) ●石井 由理(教育学部)
 ●成富 敬(経済学部) ●木内 功(理学部) ●坂井田 功(医学部) ●清水 則一(工学部) ●阿座上 弘行(農学部)
 ●何 曉毅(大学教育機構) ●近久 博志(産学公連携・イノベーション推進機構) ●小河原 加久治(大学情報機構)
 ●長畑 実(エクステンションセンター長) ●藤井 大司郎(アドミッションセンター長) ●梅木 哲也(総合企画部広報チーム)

広報学生スタッフYU-PRSS(ユープラス)

●小枝 佑佳 ●繁富 志織 ●島津 梢 ●安成 啓佑 ●林田 久恵 ●原内 由佳 ●桐原 祐太 ●国本 亮
 ●久保田 法彦 ●入江 貴博 ●佐々木 裕美 ●黒江 那津子 ●長岡 奈緒子 ●前田 梨乃 ●吉岡 優一
 ●河島 あかね ●溝口 明音